

子ども狂言



先踊り



精霊流し



島原木綿



和ろうそく



和ろうそく絵付け体験



本光寺山門



松平文庫の古典籍



伝統的なものが多い島原。和ろうそくも人気が高まっています！



古き良き日本文化を 伝え受け継ぐ城下町

歴史・文化の振興

「築城の名人」として名高い松倉重政が築いた島原城の城郭とまち並みは、島原のまちの礎となり、今日に至っています。

島原の乱後、江戸時代の大半の期間を治めたのは、三河国深溝(愛知県幸田町)を出自とする譜代の松平氏で、島原藩の発展に尽力しました。

特に寛文9年(1669)丹波福知山(京都府福知山市)から移封された松平忠房は、今日の島原半島の産業や文化の基礎を築きました。好学だった忠房が蒐集した蔵書「松平文庫」をはじめ、先人たちが築いた産業や文化は大切に継承され、島原では、今もその歴史や功績に触れることができます。

寛政4年(1792)に起きた「島原大変肥後迷惑」と呼ばれる火山災害で窮乏した藩政を救った産業、「櫛の実による『蠟燭作り』」もその一つです。

なお、大分県豊後高田市や、京都府福知山市、愛知県幸田町とは、松平氏を介した縁が息づいています。



武家屋敷



三十番神像(護国寺)



旧島原藩薬園跡



島原城薪能



藩主松平家墓所(本光寺)